

地域を守る身近なヒーロー！

消防団に密着！！



火事や災害の時に活躍する消防団。消防団と聞くと消防士を思い浮かべる人も多いかもしれませんが、消防団員の多くは地域で暮らす身近な人たち。今回は、地域を守る消防団の皆さんにお話をうかがいました。
▶問合せ 消防本部 (☎ 766-0119)

団員さんに聞きました！

Q. 入団したきっかけは？

結婚を機に町内の実家に戻った際、消防団の人手不足を知り、兄が所属していたこともあり地域の役に立ちたいという思いで入団を決意しました。



にしいに しょうた
西谷 翔太さん
(管理栄養士)

Q. やりがいを感じる瞬間は？

水害や土砂災害などの現場で、見回りや浸水箇所の対応、交通整理などを通して地域の安全を守る時です。

Q. 家族の反応は？

妻は応援してくれています。こどもたちは消防車が好きで、出初式（消防関係者が新年に行う式典）にも喜んで来てくれています。「パパカッコいい」の音がとても嬉しいです！

Q. 活動してみてもうですか？

最初は大変さも感じましたが、先輩たちの人柄や地域とのつながりを実感し、入団して良かったと感じています。



消防団車両



うつのみや りんたろう
宇都宮 聡太さん
(大学生)

Q. 入団したきっかけは？

現在は大学生として学校に通っていますが、レスリングもしているので、鍛えた体を活かしたい気持ちと、将来は消防士になりたいという思いがあり入団しました。

Q. 消防団の今後について

私が消防団では最年少になり、若い人が少ないので、一緒に町を守る人がもっと増えてほしいです！

消防操法大会に向け訓練中



毎週日曜日に集まって訓練



ホース延長基準時間の45秒を目標に走ります



放水するまでのタイムを競います

団員募集中



興味のある人は消防本部まで連絡を！

男女問わず地域を守る仲間募集！
女性の参加も歓迎します！

編集後記

消防団を知らなかった私（恥ずかしい…）ですが、この取材を通して、猪名川町を守るために欠かせない存在だと知り、訓練している姿もとてもかっこよかったです！消防操法大会、がんばってください！



高取 祥子



上村 美穂

消防団の活動について

消防団は、火災時の消火活動だけでなく、風水害への対応や行方不明者の捜索など、さまざまな活動を行っています。
猪名川町は山林が多くを占める自然豊かな町です。その反面、大規模な災害が発生した際には大きな被害につながる可能性もあります。常備消防だけでは対応が難しいです。

消防団と消防署の違いは？

消防団員は、地域住民で構成される非常勤特別職の地方公務員です。普段は会社員や自営業など、それぞれの仕事を持ちながら災害時に活動します。一方、消防署で勤務する常備消防は、消防業務を専門の仕事とする町の職員です。
猪名川町では、常備消防職員48人に対し、消防団員は329人が籍しています。地域をよく知る消防団員は、消火活動をはじめ災害時の後方支援や捜索活動など、地域防災を支える大切な役割を担っています。



猪名川町消防団 団長
おくなか あさお
奥中 章生さん

消防団の未来

今後は、現在の団員数を維持しながら、新しく町内に生まれた皆さんにも参加を呼びかけていきたいです。消防団の活動は地域の皆さんの支えがあってこそ成り立ちます。これからも地域とともに歩みながら、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたいです。



広報活動



一斉放水